

with smile

プロスポーツの世界は
野球、サッカーだけじゃないよ。号



「スマイルアスリート」
バスケットボール
矢代 直美さん

【特集】プロスポーツを観に行こう！

アイスホッケー レッドイーグルス北海道 &
〈WEB版限定〉男子バレーボール 北海道イエロースターズ

オリンピック・パラリンピック出場者からのメッセージ

スマイルアスリート



バスケットボール

やしろ なおみ
矢代直美さん



ゝが落ちているような状況でした。その影響か、翌日大半の選手が体調を崩し、試合中にベンチに戻る度に嘔吐するような状況で、試合後には数人が救急車で病院へ運ばれるほどでした。

しかし不思議なもので、チーム競技ではイレギュラーが起きると普段以上に団結力が生まれることがあり、大会の結果は目指していた以上の結果を出すことが出来ました。

食生活で気をつけていること

現役中からですが、食品添加物をなるべく摂取しないようにしています。食品添加物を多く摂取すると健康に害を与える可能性があると言われていたので、できるだけ原材料名を見て食品添加物の少ないものを選んで購入しています。

また、調理方法によって食品添加物を減らせることもあります。食事が体を作っているのもので、健康第一をテーマに楽しみながらやっています。

ボランティアへの思い

現役引退後は様々なイベントに参加させていただいており、いろいろな競技会場に足を運ぶことがあります。そこで出会うボランティアの方たちの笑顔にこちらまで元気をもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、ボランティア活動を楽しんでいる姿や、さらにプラスアルファの行動をしている方と出会うとボランティアの方のプロ意識を感じます。いつもありがとうございます。これからも一緒にスポーツを盛り上げていきましょう。

自己紹介と最近の活動

自然や公園遊びが好きな幼少期を過ごし、小学5年生の時にバスケットボールと出会いました。諸々の理由から、本格的にバスケットボールに取り組んだのは高校生からでした。大学卒業後は日本航空に入社し、客室乗務員の仕事をしながらバスケットボールをする生活を送りました。

現役引退後は仕事に専念していましたが、出産を機に退職。その後は北海道に拠点を置いて、オールオリンピッズの活動やバスケットボールの普及活動をしています。2002年世界選手権出場。2004年アテネオリンピック出場。

大会でのびっくりエピソード

海外に行くと、基本的に「歯磨きをするときも水道水を使わないこと」や「カットしてある果物を食べない」など、チームの体調管理のために色々な工夫や制限をつけています。それでも海外では予期せぬ出来事がたくさん起こります。

ある大会では、練習会場が床と屋根だけの体育館がありました。鳩が多く飛び回り、床にはフン

アスリートからの 挑戦状

オリンピックにおいて、バスケットボールに代表として出場できる国は男女ともに12カ国である。○か×か？



RED EAGLES HOKKAIDO

北海道・苫小牧市を拠点として活動するプロアイスホッケークラブのレッドイーグルス北海道。2011-12 シーズン以来のアジアリーグ制覇に向けて、全力で頑張るレッドイーグルス北海道に今シーズンの注目ポイントを聞きました。試合を支えるボランティアへのメッセージもぜひお読みください！

いま一番の注目選手は？

日本代表として活躍するハリデー慈英選手は、英語が堪能、カッコいいとファンから大人気のスーパーマンです。ファンサービスも評判良く、大人から子供まで幅広いファン層に支持されています。

今シーズンから始まる短期集中戦「ジャパンカップ」とは何ですか？

アジアリーグは韓国の「HLアニャン」を含めたリーグですが、これは日本国内をもっと盛り上げるべく国内チームだけで行われるリーグ戦。

短期決戦で国内チャンピオンを決める、今までとは違った側面からアイスホッケーの魅力をお楽しみいただけます。

観戦を楽しむためのイベントや会場で注目してほしい演出は？

その場面にあったこだわりの演出で会場を彩る音や光、初めての来場者でも楽しむことができる応援スタイル、多種多様な飲食店やグッズ販売など、試合以外でもより観戦が楽しく、会場に来ることが楽しいと感じていただける、そんな空間になっています。

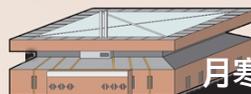
プレー中は体の衝突が多く、カッとなってしまうこともあるかと思います。そんな時はどのように気持ちを切り替えるのでしょうか？

チームの勝利を優先に、自分の行動がどういった影響をチームに与えるかを常に考えます。もちろん反則にならない衝突は必要なので、ルールに則りプレーすることを意識しています。

試合運営を支えるボランティアへのメッセージをお願いします！

選手たちよりもお客様に接する機会の多いボランティアの皆様の素晴らしいご協力があるからこそ、より良い会場になりますし、お客様の思い出に残ります。

一緒に思い出を作り出しましょう！



月寒体育館で開催される試合予定

日程	対戦チーム
9月28日(土)	HLアニャンアイスホッケークラブ
9月29日(日)	
1月11日(土)	H.C.栃木日光アイスバックス
1月12日(日)	

月寒体育館での試合運営補助としてスマサポが活動予定！ボランティアの予定がない方も、ぜひ会場で観戦してみてくださいね！

質問内容

- ①自己紹介
- ②試合に臨むにあたって最も意識していること
- ③バレーボールのここを見てほしい！という点
- ④新公式マスコット「カチボシくん」に期待する活躍
- ⑤ボランティアの皆さんへメッセージ



「サフィールヴァ北海道」を前身とし、2023年6月にチーム名を新たに再発進した男子プロバレーボールチーム「北海道イエロースターズ」。昨シーズンのバレーボール男子Vリーグ2部(V2)では見事優勝を果たしたほか、同リーグ最多の観客動員数を記録するなど、いま注目のチームです。

今シーズン新たに創設されるVリーグでの躍進を目指す池田選手、久保下選手、山田選手の3名に、チームやバレーボールの魅力などをお答えいただきました！



池田 颯太 選手

- ①今シーズンから北海道イエロースターズに加入した、背番号11番の池田颯太です。出身地は石川県で、昨シーズンまでは長野県のVC長野トライデンツでプレーしていました。
- ②「自分ならできる」と自信を持つことです。緊張から不安な気持ちが膨らんでしまうこともありますが、前日のコンディションを整えるためのルーチンを絶対に崩さず、寝る前にポジティブなイメージを頭に浮かべることを大切にしています。
- ③迫力のあるプレーは勿論ですが、相手のブロックを利用した得点や、空いているところを狙ったコントロールショット、相手の考えの裏をついた攻撃など、頭を使った上手いプレーもバレーボールの醍醐味です。
- ④北海道イエロースターズをより知ってもらうために力を貸してほしいです！
- ⑤いつも試合の運営ありがとうございます。皆さんのおかげで試合に集中することができ、いつも試合前に最高の準備ができています！今シーズンもサポートよろしくお願いたします！



久保下 航平 選手

- ①鹿児島県出身で都城工業卒業後、専修大学に入学しました。その後アイシンティルマーレに入団し、2シーズンプレーしました。そして、去年北海道イエロースターズに移籍してきました。
- ②最近は食事とアップを特に意識しています。エネルギーになる食べ物を多く取り、試合に向けて蓄えるようにしています。また、試合前のアップはチューブを主に使って刺激を入れるようにしています。
- ③スパイクやサーブの威力はもちろん凄いです。戦術に目を向けるとさらに面白くバレーボールが楽しめると思います。例えば、サーブで誰を狙って相手に何をさせたくないか、ブロックとレシーブの関係性なども見て欲しいところになります。そうするといつもとは違う角度から試合を見ることができるので、新たな発見も生まれてくると思います。
- ④名前の通り、勝ち星をもってくると思っているので、チームの勝利に大きく貢献して欲しいと思っています。
- ⑤僕たちが試合に集中できるのもボランティアの皆さんのおかげです。そして、素晴らしい会場の裏には大変な思いをしてくる皆さんがいると思います。そんな皆さんの為にも僕たちは会場を湧かせるプレーをし、勝利して少しでも恩返し出来ればと思っています。いつも本当にありがとうございます。



山田 滉太 選手

- ①北海道イエロースターズ10番山田滉太です！ポジションはアウトサイドヒッターです！
- ②僕が試合に臨む時に意識していることは、普段通りにすることです。試合前だから違うことをやろうとすると、変に試合のことを考えすぎたり、自分自身にプレッシャーをかけちゃう気がするの、いつも通りにすることを意識してます！
- ③バレーボールの見て欲しいところは、チームワークです。バレーボールは1人で連続してボールを触れない、ボールを保持することができないスポーツです。コートの中にいる6人のコンビネーションであったり、相手との駆け引きを楽しんでもらえたら嬉しいなと思います。観客席からコートも近いので、ボールのスピードや迫力も見てもらえると楽しめると思います！
- ④今年からカチボシくんがチームに入ってくれました笑。名前のようにチームに勝ち星を呼び込んでくれることを1番期待してます！どのチームのマスコットにも負けないくらい可愛く、愛されるマスコットになり、たくさんイエスタの試合会場にファンの皆さんを呼んで来て欲しいなと思ってます笑
- ⑤いつもたくさんのサポートありがとうございます！僕たちがスムーズに試合を行えていること、試合に集中できることは皆さんのおかげだと思っています。最高の試合を見られるようにチーム全員で頑張りたいと思います！



カチボシくんの後ろ姿

スマサポ レポート

炭鉱の町として栄えた夕張市を舞台に、豊かな自然と美味しいメロンを満喫できる「夕張バリバリメロンラン」。昨年に引き続き今年も同大会のボランティアとして参加したスマサポさんに大会の様子やスポーツボランティアへの思いを聞きました！

イベント開催日 6月30日(日)
レポートしてくれたスマサポ 山田 正樹さん
当日の活動内容 ランナー誘導係

今回のイベントへのボランティア従事を決めた理由は何ですか？

去年も参加させていただきましたが、夕張を盛り上げるためのイベントとして、地元の方やランナーの方が一体となった大変印象深いイベントだったため、今年も参加しようと思いました。

イベントで最も印象に残った瞬間を3つ教えてください。

①ランナーの方に声かけを行いました、多くの方が返事をしてくれたり笑顔を返してくれたりして、終始和やかな雰囲気だったこと

②警備会社の方との共同作業でしたが、役割分担や対応方法についてスムーズに連携ができ、お互い気持ちよく業務に従事できたこと

③運営スタッフの皆さんが去年の反省点をしっかり改善しており、当日もボランティアスタッフに対して真摯に対応してくださったこと

ボランティアとして従事するにあたって気を付けていたことは何ですか？

多くの人とかかわる現場だったので、ランナーの皆さんにもスタッフにも終始笑顔で明るく対応することを心掛けていました。特にランナーの皆さんは炎天下の中を走るので、少しでも励みになれるよう積極的に声かけを行うよう心掛けました。また、車が通る場所だったので、常に周囲の交通状況には気を配りました。

今回のイベントで大変だったことは何でしょうか？

特に大変と感じることはなく、終始楽しく活動出来ました。

スマサポ仲間に向けてメッセージをお願いします。

もともと去年このボランティアに参加を決めたきっかけは、「夕張に行けるから」という単純な物でしたが、実際に活動に参加することで大変刺激を受けるとともに、新たな発見や出会いがあり、有意義な時間を過ごすことができました。私も含めて、普段なかなかボランティア活動に参加できていない方もたくさんいらっしゃると思いますが、何でもいいので自分の中で理由をつけて、年に1回でもボランティアに参加してみることをお勧めします。

事務局からのお知らせ

パリオリンピック・パラリンピック 選手応援ストリート

パリパラリンピックの開催期間中（8月28日～9月8日）、札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）北2条交差点広場にて、「パリオリンピック・パラリンピック選手応援ストリート」が開催されます。北海道ゆかりの大会出場選手を応援できるよう、選手の等身大パネルの展示や応援メッセージの募集等が行われます。

9月7日・8日には競技体験（陸上競技用車いすレーサー、ボッチャ）が予定されており、8日のアスリートトークには過去のWith Smileのインタビュー記事（2022年5月号）にご協力いただいた寺田明日香さん（オリンピックノ陸上競技）と久保恒造さん（パラリンピアンノ陸上競技）が登場予定。ぜひ足をお運びください！

詳細はこちら



スマサポの活動



6月・8月

イベント運営へのご協力、ありがとうございました！

ご協力いただいたイベント

- ・第30回北海道スポーツチャンバラ選手権大会（6/30）
- ・第3回夕張バリバリメロンラン2024（6/30）
- ・渡部絵美 子どもスケート教室（8/3, 8/4）
- ・チャレンジ！スポーツパーク in サマー（8/5）
- ・北海道マラソン2024（8/23～25）

ボランティア募集情報はどこで見られますか？

ボランティア募集情報は随時HPにて掲載しています。よくある質問をまとめたFAQやWith SmileのバックナンバーもHPからお読みいただけます。ぜひチェックしてください！

▶ <https://www.sapporosport.org/volunteers/>

《アスリートからの挑戦状の答え》

正解は○。ちなみに3×3の出場を枠は男女とも8カ国です。

さっぽろグローバルスポーツコミッション
公式インスタグラム

イベント情報などを発信中
ぜひフォローお願いします！



SPORTSCOM31